



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

尾張旭市の 赤い羽根共同募金

10月1日(日)全国一斉にスタート



尾張旭市共同募金委員会では、共同募金運動を10月1日(日)～令和6年3月31日(日)の6か月間実施し、10月1日(日)から順次、街頭募金を行います。また、令和6年1月1日(月・祝)～3月31日(日)は、「障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援」をテーマに、社会福祉協議会が行う車いす貸出事業の充実を図るための募金運動を行います。ぜひ、皆さんのあたたかい善意をお寄せください。

▲昨年の街頭募金運動

愛ちゃんと 希望くん



©中央共同募金会

contents (主な項目)

- 赤い羽根共同募金
- 第75回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
- ボランティアセンターからのお知らせ
- あさひ支えあいサロン開設助成事業
- あさひ生活応援サポーター養成講座
- 知るサポだよりNo.34
- 家庭介護教室
- 地域の居場所づくりボランティアスタート講座
- 日常生活自立支援事業
- フードドライブ事業
- 寄付者一覧



質問1

『じぶんの町を
良くするしくみ。』って
どういうこと？

市内で寄付していただいた共同募金は、尾張旭市社会福祉協議会に約7割が配分され、さまざまな地域福祉事業に活かされることから、この標語がつけられています。

ぜひ「尾張旭市内」での募金をお願いします。



質問2

共同募金は
どのように行われて
いるの？

【戸別募金】

連合自治会、自治会、町内会を通じて、各世帯に赤い羽根と募金封筒を配布してお願いします。

【街頭募金】

スーパーなどで、地域のボランティアのかたがたにご協力いただいで実施します。

【法人募金】

企業や事業所に募金を呼びかけています。

【職域募金】

企業、団体、官公庁などの職場で、お勤めのかたにお願いします。

【学校募金】

小学校の児童会や、中学校、高等学校の生徒会を通じて児童・生徒にお願いします。

【テーマ設定型募金】

「障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出手段支援」をテーマに設定し、イベントなどで募金を呼びかけます。



下記の二次元バーコードから、「尾張旭市共同募金委員会」へ寄付ができたり、寄付金の使いみちを見たりすることができます。



質問3

共同募金は
どのようなことに使
われているの？

【地域福祉推進のために】

校区社会福祉推進協議会の活動支援／福祉のまちづくり推進助成事業

【高齢者のために】

高齢者趣味の作品展への協賛やシニアクラブ活動支援／ボランティア給食サービス事業／敬老肖像写真の贈呈事業／高齢者サロンの活動支援

【障がいのあるかたのために】

点訳・音訳・要約筆記を行う団体の支援／行事の支援／施設の支援／おもちゃ図書館の運営

【子どもたちのために】

青少年健全育成団体の活動支援／社会を明るくする運動の支援／赤い羽根こころの文庫の設置／児童養護施設の支援／民間学童クラブの活動支援／子育てサロンの活動支援／子ども食堂の支援



【歳末たすけあいに】

要保護・準要保護家庭児童生徒の支援／養護施設入所児童生徒の支援

【外出手段支援のために】

障がいや疾患などにより移動が困難なかたの外出支援(テーマ設定型募金)

【全地域の福祉推進のために】

社会福祉施設の整備費／社会福祉団体の事業費／募金運動推進活動費など

共同募金の寄付には、 税制上の優遇措置があります。

◎個人の寄付

寄付金額によっては、所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

◎法人の寄付

株式会社などの法人の寄付は、全額損金扱いとなります。

※優遇措置の詳細につきましては、税務署にお尋ねください。

尾張旭市共同募金委員会では、今年も市内小・中学校の児童生徒の皆さんから書道及びポスターを募集し、書道934点、ポスター381点の応募がありました。

そのうち、次の作品が愛知県共同募金会への推薦作品に選ばれました。多数のご応募ありがとうございました。なお、推薦作品は11月1日(水)～11月17日(金)の間、尾張旭市保健福祉センターにて展示します。

書道の部(順不同・敬称略)



白鳳小学校 4年
久保田 陽莉



渋川小学校 5年
志智 悠真



城山小学校 5年
井上 紗希



本地原小学校 6年
泉原 由奈



旭中学校 3年
齊場 真央



東中学校 3年
高尾 みなみ



西中学校 3年
三ツ川 莉帆

ポスターの部(順不同・敬称略)



瑞鳳小学校 2年
新 陽彩



渋川小学校 4年
林 千壽



本地原小学校 5年
山田 多珠



旭小学校 6年
岩満 紅葉



三郷小学校 2年
松下 颯汰



東栄小学校 6年
中澤 希美



西中学校 3年
田中 智葉

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティア サロンのご案内

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。この機会にぜひ、ボランティア活動に触れてみませんか。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

〈11月・12月・令和6年1月のボランティアサロン〉

と き	11月14日(火) 午後1時30分～3時	12月7日(木) 午前10時～11時30分	令和6年1月18日(木) 午前10時～正午
と ころ	渋川福祉センター 1階 集会室	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 会議室
内 容	手づくり小物 ～エチケット袋をおしゃれに 持ち歩こう～	和紙のくすみ絵づくり ～干支のミニ色紙～	傾聴ボランティアっ てなあに?
講 師	尾張旭消費者協会	水野 道子氏	うさぎの会
参加費	100円	300円	無料
定 員	10人	15人	15人

※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

第2回

ふくし探検隊 ～尾張旭市のやさしいところを探してみよう～

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

市内在住の小学5・6年生を対象に、「ふくし」について学ぶ第2回福祉教育講座を開催します。

この講座は、子どもたちが車いす体験や参加者同士の話し合いを通じて「支え合うこと、ともに生きること」の大切さや人を思いやる優しい心を育む機会になってほしいと願い開催するものです。

車いすユーザーの講師や、愛知県立大学学生ボランティアの皆さんと一緒に「ふくし」について学び、住みよいまちになるにはどんな工夫があるのか考えてみませんか。



▲車いすに乗っていると身近なことも難しい!

と き	12月2日(土)午前9時～午後3時45分 ※昼食は持参してください。	対象者	市内在住の小学5・6年生		
と ころ	保健福祉センター 4階 シアタールーム	定 員	先着20人	参加費	無料
内 容	室内・屋外での車いす体験、ふくしマップ作りを通して「ふくし」を学びます。	申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接		
		申し込み期限	11月20日(月)まで		

ボランティアスキルアップ講座 ～オンラインツール編～

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティア活動などに役立つオンラインツールの操作方法や活用方法を習得する場を提供し、ボランティア活動を支援することを目的にボランティアスキルアップ講座を開催します。

今回は、ボランティア団体内の情報共有をスムーズに行えるようLINEのグループ機能の活用方法を学びます。

たくさんのかたのご参加をお待ちしています。

と き	12月22日(金) 午前10時～正午			
と ころ	渋川福祉センター 1階 会議室			
内 容	LINEのグループ機能の活用方法(グループ作成、アルバム、ノート、投票、グループビデオ通話など)			
対象者	LINEを日常的に利用し、ボランティア活動にLINEグループを活用したいと考えているかた			
講 師	NPO法人デジタルライフサポーターズネット 理事長 友次 進 氏			
定 員	先着20人	参加費	無料	
持ち物	LINEアプリインストール済みスマートフォン(iPhone可)、イヤホン(お持ちのかた)、筆記用具			
申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接	申し込み期限	12月8日(金)まで	

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数：原則として、月1回以上
- ②活動内容：参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数：概ね5人以上
- ④会場：公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者：活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介⑮

【行こまい!!「印場サロン」】

令和5年4月に本事業を活用していただきました。



①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④活動内容 ⑤目的・特色

- ①西部老人いこいの家
- ②毎月2回 第1・3金曜日 午前11時～午後3時
- ③200円
- ④コーヒーやお茶を飲みながら懇談、カラオケや塗り絵、パズルを通して楽しく交流、ネイルでおしゃれを楽しむなど
- ⑤行こまい!!「印場サロン」に参加いただくことで、高齢者の引きこもりの防止を目的に開催しています。支えあう仲間と楽しみながら、笑顔あふれる時間を一緒に過ごしませんか。みなさんのご参加をお待ちしています。

あなたの思いやりとやさしさを地域の高齢者にお届けしてみませんか!

第20回あさひ生活応援サポーター養成講座のご案内

参加費
無料

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

本会では、地域の高齢者のちょっとした困りごとをお手伝いする生活応援サポーターを養成するため、下表のとおり講座を開催します。どなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。なお、生活応援サポーターの登録は任意です。



		内 容	日 時
1 日 目	【趣旨説明】	「生活支援で人にやさしいまちづくり」	令和6年 2月7日(水) 午前10時～正午
	【活動発表】	「あさひ生活応援サービスについて」 ～生活応援サポーターの活動発表～	
	【交流会】	「私たちができる助け合いって何だろう」 ～ゲームで“たすけあい”をイメージ!～	
2 日 目	【講義1】	「先輩から学ぶ生活支援の実際」	令和6年 2月14日(水) 午前10時～正午
	【講義2】	「生活リハビリで介護予防」 ～ふだんのくらしがリハビリに～	
3 日 目	【講義3】	「生活支援の場面で求められるコミュニケーション」 ～相手も自分も心地よく～	令和6年 2月21日(水) 午前10時～正午
	【修了式】	「修了証書授与」	

会 場 保健福祉センター4階シアタールーム

定 員 先着15人

申し込み方法 社会福祉協議会に電話か直接

申し込み期限 令和6年1月31日(水)まで

【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071

知るサポだより

No.34

～尾張旭市地域包括支援センター～

TEL 55-0654(直通)

しめ縄作り教室



介護保険で住環境を整えるサービスがあることを知っていますか？

介護保険では、福祉用具レンタル・特定福祉用具の販売・住宅改修費支給などのサービスがあります。

足腰が弱って歩行が困難になってきたかた、転倒が多いかたなど、介護保険の認定を受け介護保険で住環境を改善することができます(要支援1～要介護5の認定を取得のかた)。

①福祉用具レンタル

福祉用具レンタルは、必要に応じて用具を借りることができますが、介護度によって借りられる種類が決まっています。

歩行器・4点杖・手すり・スロープなどは要支援1のかたでもレンタルすることが可能で、要介護2以上のかたはさらに介護ベッドや車いすなどレンタルすることができます(いずれもケアマネジャーの依頼が必要)。

②特定福祉用具販売

特定福祉用具販売は、レンタルすると衛生的に問題があるものが対象で、ポータブルトイレや、シャワーチェアなど福祉用具を購入したときに利用者負担分を除いた額が支給されます。

購入品は、同年度で10万円を上限に利用可能です(事前に市役所介護保険課に申請が必要で、県指定事業者から購入した場合に限る)。

③住宅改修費支給

住宅改修費支給は、工事を行って取り付ける手すりや段差の解消、引き戸などへの扉の変更などが対象で、20万円を上限に利用者負担分を除いた額が支給されます(市役所介護保険課に事前申請が必要)。

※上記①②③のサービスで介護保

険の対象にならない場合もありますので、事前に市役所介護保険課にお問い合わせください。

利用者負担金額は、介護保険負担割合証(1～3割)で費用が変わってきます。その他わからないことがあれば、地域包括支援センターにお問い合わせください。

介護者のつどいに参加しませんか

地域包括支援センターでは、高齢者のかたの健康・福祉・介護などの相談を受けており、相談件数は年々増加しています。「老老介護」や「介護離職」、「ヤングケアラー」といった言葉は、メディアなどを通じて耳目に触れることも多くなりました。介護は、介護者にとって体力的な負担だけではなく、精神的にも負担が大きいと、不安や悩みを抱えているかたも多く、また孤立しがちです。

このような背景を踏まえ、地域包括支援センターでは、介護をする家族のかたを対象に、同じ立場のかたと交流しながらリフレッシュしてもらえよう「介護者のつどい」を開催しています。今回のつどいでは、アーティフィシャルフラワー(生花をリアルに再現した美しい造花)で「しめ縄づくり」を行います。参加者同士の会話を楽しみながら、気分転換や情報交換の機会となれば幸いです。たくさんのかたのご参加をお待ちしています。

〈第2回あさひ介護者のつどい〉

○日時

12月4日(月)午前10時～正午

○場所

保健福祉センター 4階 シアタールーム

○内容

アーティフィシャルフラワーで

○対象者

要支援・要介護の認定を受けたかたを在宅で介護している市内在住のかた

○講師 森井 和美 氏

○定員 先着15人

○参加費 500円

○持ち物

軍手、持ち帰り用の紙袋

○申し込み期間

11月1日(水)～11月24日(金)

○申し込み方法

地域包括支援センターに電話か直接

○その他

「第3回あさひ介護者のつどい」は、令和6年3月5日(火)に開催します。内容は、「座談会・健康チェック」です。「広報おわりあさひ」の令和6年2月1日号でご案内予定です。

カフェ「かたろ～な」通信

○三郷ふあんふあんで飲み物の提供をはじめました

長らく続いた新型コロナウイルス感染拡大防止のための公共施設の利用制限が解除され、三郷ふあんふあんではお菓子と飲み物の提供をはじめました(参加費100円)。

参加者のみなさまから「以前よりもリラックスした雰囲気です。過ごしている」と好評をいただいています。

○カフェうさぎの会場が変わりました

カフェうさぎは、多世代交流館いきいきからサンヴェール尾張旭に会

場が変更になりました。

施設内にある喫茶サンカフェで淹れたおいしいコーヒーなど(150円から、飲食なしでも参加可能)をいただきながら、楽しいひとときを過ごしていただけます。

おでかけのお供にいかがですか

社会福祉協議会のホームページ

に「あさひおでかけガイドいこまいか」が掲載されていることをご存知でしょうか。

「あさひおでかけガイドいこまいか」には、ご高齢のかたのおでかけの参考になるよう「地域のサロン」「認知症に対応しているサロン」「一人でも気軽にいつでも出かけられる場所」「らくらく筋トレグループ」

「健康づくり教室」の5種類のおでかけ先が掲載されています。

印刷された冊子は地域包括支援センター窓口で配布していますが、パソコンやスマートフォンなどで「あさひおでかけガイドいこまいか」と検索していただくことでも閲覧可能です。

介護のヒントがここにある! 家庭介護教室を開催します



高齢者を介護されている家族などが、介護に関する知識や技術を学ぶとともに、介護の不安解消を図り安心のある生活を支援することを目的に家庭介護教室を開催します。

介護の「ヒント」や「不安解消」にぜひご参加ください。

と き	11月25日(土)午前10時～正午		
と ころ	保健福祉センター 4階 シアタールーム		
講 師	愛知医科大学 看護学部 講師 横山 剛志 氏		
テーマ	ひとりで抱え込まない介護 ～夜のトイレの不安をもっと減らすために～		
内 容	講義・演習	定 員	先着20人
参加費	無料	申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接

地域の居場所づくりボランティアスタート講座 参加者大募集!



と き	令和6年1月17日(水)・24日(水) いずれも 午後1時～4時		
と ころ	尾張旭市渋川福祉センター 1階 会議室		
内 容	1日目	講義・演習	
	2日目	活動報告・演習・交流会	
講 師	認定NPO法人 絆 代表理事 山崎 紀恵子 氏		
協 力	瑞鳳校区社会福祉推進協議会、尾張旭市地域福祉を考える会 ぬくもり		
定 員	先着20人		
参加費	無料	申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接

地域で人と人が安心してつながり、気軽にふれあえる「居場所」について考え、私たちができることを探してみませんか。

市内で高齢者の居場所としてサロンを開催されているボランティアの活動報告や交流会も予定しています。

判断能力に不安のあるかたに『日常生活自立支援事業』がお手伝いします

○対象者

認知症、知的・精神障がいなどの理由で、契約などの判断をすることやお金の出し入れ・書類などの管理が不安なかた

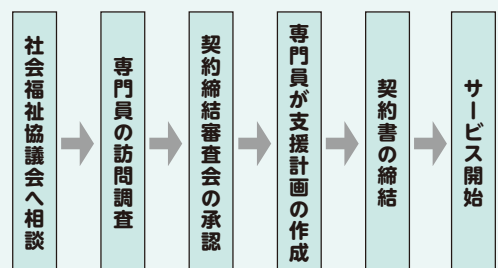
○援助内容

- ①福祉サービスの利用支援(利用料の支払い、手続きなど)
- ②日常的な金銭管理(生活費の出し入れ、公共料金の支払いなど)
- ③通帳や印鑑などの預かり

○利用料 1回1,200円(ただし、③の支援は月額250円)

○申し込み及び問い合わせ先 社会福祉協議会

<日常生活自立支援事業利用までの流れ>



- 担当の生活支援員が訪問して支援
- 支援回数は月に概ね1～2回

食品をご寄付いただきありがとうございました!

6月12日(月)～18日(日)に実施しました「フードドライブ事業～食品の持ち寄りで支えあい～」にご協力いただきありがとうございました。7日間で多くの食品が寄せられましたので報告いたします。

ご寄付いただいた食品は、6月19日(月)にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。



集まった食品 合計278.0kg(米129.8kg、米以外148.2kg)

〈ご寄付いただいた食品の種類と点数〉

食品の種類	点数(点)
米	23
缶詰	60
インスタント食品、レトルト食品	193
調味料各種	36
乾物(乾麺、海苔、豆など)	40
飲料(お茶、ジュース、コーヒーなど)	46
その他	38
合計	436

次回は、令和5年12月11日(月)～17日(日)の実施を予定しています。引き続きのご協力をお願いいたします。

慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和5年度冬号(1月発行)に掲載の広告を募集します。

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 **社会福祉協議会**
電話 54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。

こんなとき、こんなお金をぜひ、**社会福祉協議会**へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

善意のご寄付ありがとうございました

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

6月15日～8月31日 (順不同)

■一般寄付

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
ユニー株式会社 ピアゴ印場店 "小さな善意で大きな愛の輪"運動 様	70,257
尾張旭市ゴルフ協会 様	40,000
尾張旭ライオンズクラブ 様	10,000
尾張旭ロータリークラブ 様	10,000
秋田 誠 様(三郷町)	100,000
旭中元3A還暦同窓会 様	5,000
名古屋ヤクルト販売株式会社 様	47,163
匿名(8件)	567,291

■物品寄付

寄付者名/物品名	
日置 マチ子 様(旭ヶ丘町)	紙おむつ10袋
匿名(8件)	紙おむつ27袋、尿とりパッド19袋

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。